



(題字 時澤 貢 学長)

第400号
(平成10年 4月号)



▲ 平成10年度富山大学入学式：右上は入学生を代表して宣誓する理学部数学科伊藤彩さん
(平成10年 4月10日 富山市芸術文化ホール)

目 次

学 長 告 辞

- ◆ 平成10年度富山大学入学式を挙行 3

関 係 法 令 5

学 内 規 則 5

諸 会 議 7

人 事 異 動 8

学 内 諸 報

- ◆ モスクワ物理工科大学と学術交流協定（大学間）
を締結 8

- ◆ 遼寧大学長が来学 9

- ◆ 工学部がロモノソフ・モスクワ大学計算数学
及び人工頭脳学部と学術交流協定（学部間）を
締結 9

- ◆ 富山大学公開講座の実施計画 10

- ◆ 海外渡航者 10

- ◆ 外国人来訪者 11

職 員 消 息

- ◆ 住 所 変 更 12

- ◆ 新 任 者 住 所 12

主 要 行 事 15

資 料

- ◆ 平成10年度入学者数 18

学 長 告 辞

学生生活へ夢いっぱい1,897人の入学

平成10年度富山大学入学式を挙

— 平成10年 4月10日（金）富山市芸術文化ホール —

平成10年度富山大学入学式が、去る4月10日（金）午前10時30分から富山市芸術文化ホール（オーバードホール）において挙行されました。

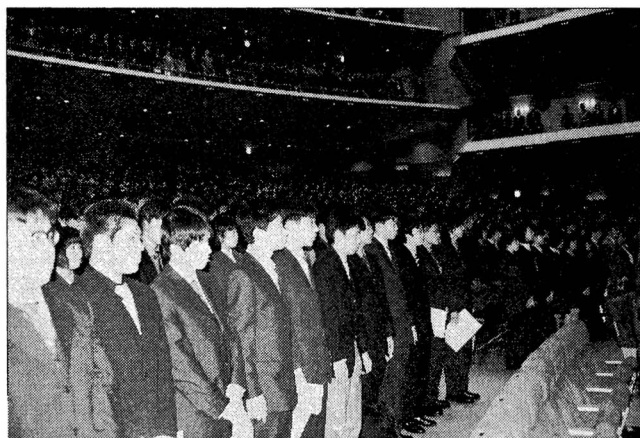
まず、時澤学長から学部入学生1,624人、大学院入学生273人、合計1,897人（うち外国人留学生60人を含む。）の新入生に入学許可宣言があり、続いて学長から告辞がありました。

これに対して、新入生を代表して理学部数学科伊藤彩さんが「私たち新入生一同は、在学中学則を守り、自己の研鑽に努め、さらなる未来への展望を広げるとともに、より一層の学識を深めるよう努力いたします。」と力強く宣誓し、入学式を終了しました。

式終了後、新入生を歓迎して本学合唱団、ギター・マンドリンクラブ及びフィルハーモニー管弦楽団による合唱及び演奏があり、引き続き11時20分から教養教育及び学生部・保健管理センターのオリエンテーション（エイズ講演会）が行われました。



▲ 受付を終え式場へ入る入学生



▲ 学長の入学許可宣言を受ける入学生

入学式学長告辞（全文）



学 長 時 澤 貢

本日、ここに平成10年度富山大学入学式を挙行いたしますことは、本学にとって誠に喜ばしいことでもあります。留学生を含む総数1,897名におよぶ入学生の皆さん、ご両親およびご家族の方々に心からおめでとうとお祝い申し上げます。

富山大学は人文、教育、経済、理学、工学の五つの学部からなり、人文・社会系と自然科学系を有する総合大学です。また、人文科学、教育学、経済学の大学院各研究科修士課程があり、理学と工学を融合した大学院理工学研究科博士課程が今年発足しました。

富山大学は、五年前から大幅な教育改革を他大学に先駆けて行い、教養部を廃止して、一年生から新しい教養教育的なカリキュラムを成立させ、専門教育と両輪となるくさび形教育を実践して参りました。大学の教育目標は、(一)基礎学力(二)協調性(三)創造性の育成をめざしています。

(一)基礎学力の育成は、体力づくりや語学教育の他、専門基礎教育と教養教育により行われます。専門基礎教育は、専門教育の基礎的な知識・技術を修得させる科目で、数学、物理、化学などの他、それらの専門への応用基礎科学に相当します。教養教育は「人間形成教育」に相当し、国際的な歴史、異文化の他、倫理、哲学、価値観の学びであり、広い教養と豊かな人間性、それに基づく自主的、総合的な判断力の育成をめざしています。

そして「自己の興味と関心」を興起し、将来進むべき目的意欲によって、「専門教育」に取組むのです。その間、最近では学習意欲を失いがちな学生も見受けられますが、指導教官と学生が膝を交えて「大学で学問をすること」の動機づけやきめ細かいカウンセリングも行っています。

(二)協調性の育成については、本学は、入学者の多様化を図る目的で、毎年入試制度を見直しています。最近、入学生の出身別では、県内が約30パーセント、県外と国外留學生が70パーセントであります。社会人、帰国子女の他、普通高校、専門高校、総合学科の卒業生、さらに三年次になれば編入学生を高専、短大、大学等からの広い専門分野からも受け入れています。その他、本学は国境を越えた四か国との交流も進み、総数二百余名に

のぼる学部学生、研究生や大学院生が在学しています。このように本学は、多様な学生との交流の場で「共存、共生」の精神で、国際感覚の豊かな協調性が培われることを期待しています。幸い富山県は、豊かな生活環境においても全国のトップレベルにあり、アルプス連峰、日本海など山と海に近く、四季を通じてのクラブ活動など興味を膨らませ、快適で健康な交流が深められます。このような成果が学部の卒業研究、大学院の研究におけるプロジェクトづくりなど研究協力の際に生かされることを期待しています。

(三)創造性の育成については、資源を持たない我が国では「人」だけが資源であることを忘れてはならない。21世紀は「知の時代」。人間の知性と理性を大切な資源とすれば、「人づくり」や「研究」が不可欠となります。創造性とは、「既成の概念を越えた新しい概念を生み出すこと」と定義されています。基本的には生来の素質(個性)を人間形成などの基礎教育により自己把握から独創性を生み出し、ついで全体把握をして群創へとシステムアプローチすることが肝要です。

創造性の育成は、学生諸君の日々の生活や教育と研究環境の下で一人一人の「生きがい創造」となり、人生の核づくりとなるでしょう。「人は皆幸せになるために生まれてきた」のです。そして「人生で一番立派ですばらしいことは」と問いかけられれば、福沢諭吉の逸話を思い出します。それは「生涯貫く仕事を持つことである」。この二句を大切に有意義な学生生活を送られ、国際感覚をもつ創造性豊かな人材として21世紀で大活躍されることを期待して告辞といたします。

関 係 法 令

(省 令)

- 国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令(文部17)
(平10. 4. 1 官報第2352号)
- 国立学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令(同18)
(平10. 4. 1 官報号外第66号)

(規 則)

- 人事院規則 9 - 1 (非常勤職員の給与)の一部を改正する人事院規則(人事院 9 - 1 - 15)
(平10. 4. 1 官報第2352号)
- 人事院規則 9 - 6 (俸給の調整額)の一部を改正する人事院規則(同 9 - 6 - 33)(同上)
- 人事院規則 9 - 17 (俸給の特別調整額)の一部を改正する人事院規則(同 9 - 17 - 66)(同上)
- 人事院規則11 - 8 (職員の定年)の一部を改正する人事院規則(同11 - 8 - 7)(同上)

- 人事院規則15 - 14 (職員の勤務時間, 休日及び休暇)の一部を改正する人事院規則(同15 - 14 - 7)(同上)
 - 人事院規則16 - 0 (職員の災害補償)の一部を改正する人事院規則(同16 - 0 - 21)
(平10. 4. 1 官報号外第66号)
 - 人事院規則 1 - 4 (現行の法律, 命令及び規則の廃止)の一部を改正する人事院規則(同 1 - 4 - 17)
(平10. 4. 2 官報第2353号)
 - 人事院規則 9 - 6 (俸給の調整額)の一部を改正する人事院規則(同 9 - 6 - 34)
(平10. 4. 30 官報第2372号)
 - 人事院規則 9 - 55 (特勤勤務手当等)の一部を改正する人事院規則(同 9 - 55 - 46)(同上)
- (告 示)
- 大学等における組換えDNA実験指針の一部を改正する件(文部84)
(平10. 4. 30 官報号外第86号)

学 内 規 則

富山大学学生交流規則の一部改正

富山大学学生交流規則の一部改正理由

「大学間特別研究学生交流協定に基づき国立大学において研究指導を受ける公立又は私立の大学の特別研究学生に対する授業料の取扱いについて」(平成10年 3 月10日付け文高学第150号高等教育局長通知)の通知に基づき、特別研究学生が大学間特別研究学生交流協定による公立又は私立の大学の学生の場合の授業料の取扱いが改められたことに伴い、所要の改正を行う。

富山大学学生交流規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年 4 月17日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学学生交流規則の一部を改正する規則

部を次のように改正する。

富山大学学生交流規則(平成 7 年 3 月17日制定)の一

第25条第 4 項ただし書を次のように改める。

ただし、大学間相互単位互換協定に基づく特別聴講学生又は大学間特別研究学生交流協定に基づく特別研究学生が公立若しくは私立の大学の学生であるときは、授業料は徴収しない。

附 則
この規則は、平成10年 4 月 1 日から施行する。

富山大学機器分析センター規則の制定

富山大学機器分析センター規則の制定理由

富山大学に、学内共同利用施設として富山大学機器分析センターを置くことに伴い、所要事項を定める。

富山大学機器分析センター規則を次のとおり制定する。

平成10年 4 月17日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学機器分析センター規則

(設置)

第1条 富山大学（以下「本学」という。）に、富山大学機器分析センター（以下「センター」という。）を置く。

(目的)

第2条 センターは、各種分析機器等（以下「機器」という。）を集中管理し、学内の共同利用に供するとともに、分析・計測技術の研究開発等を行い、もって本学における教育研究の進展に資することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 機器の管理運用に関すること。
- (2) 機器の共同利用に関すること。
- (3) 分析・計測技術の研究開発、情報収集及び提供に関すること。
- (4) 分析・計測に係る教育訓練に関すること。
- (5) その他センターの目的を達成するために必要な事項

(組織)

第4条 センターにセンター長を置く。

2 前項に規定する者のほか、センターの運営に必要な職員を置くことができる。

3 センター長は、本学の教授のうちから第5条に定め

る運営委員会の推薦に基づき、学長が命ずる。

4 センター長は、センターの業務を掌理する。

5 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。
(運営委員会)

第5条 センターに、センターの管理及び運営に関する重要事項を審議するため、富山大学機器分析センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

第6条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 管理運営の基本方針に関すること。
- (2) 事業の計画及び実施に関すること。
- (3) センター長の推薦に関すること。
- (4) 予算概算の方針に関すること。
- (5) その他センターに関し必要な事項

第7条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 教育学部から選出された教授又は助教授 1人
- (3) 理学部及び工学部から選出された教授又は助教授 各2人
- (4) 水素同位体機能研究センターから選出された教授又は助教授 1人
- (5) 地域共同研究センター長

2 前項第2号から第4号までの委員は、学長が委嘱する。

3 第1項第2号から第4号までの委員の任期は2年と

し、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第8条 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

第9条 運営委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開会できない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長がこれを決する。

(意見の聴取)

第10条 運営委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第11条 運営委員会に、専門的事項を検討するため、必要に応じて専門委員会を置く。

2 専門委員会に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、センター長が定める。

(雑則)

第12条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、センター長が定める。

(庶務)

第13条 センターの庶務は、当分の間、工学部事務部において処理する。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。



第5回開学50周年記念事業委員会(4月14日)

(審議事項)

- (1) 開学50周年記念事業について
- (2) その他

(4) 富山大学名誉教授称号授与について

- (5) 学生の除籍について
- (6) その他

第3回環日本海地域研究センター運営委員会(4月16日)

(協議事項)

- (1) 環日本海地域研究センター室について
- (2) 環日本海地域研究センターの英文表記及び略称について
- (3) 平成10年度事業計画について
- (4) 平成10年度共通経費の要求について
- (5) その他

第1回附属図書館商議会(4月21日)

(議 題)

- (1) 平成10年度附属図書館運営費について

第1回部局長懇談会(4月17日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第1回事務協議会(4月21日)

(審議事項)

当面の諸課題について

第1回授業料等減免選考委員会(4月23日)

(議 題)

- (1) 平成10年度大学院入学生の入学料免除者の選考について
- (2) その他

第1回評議会(4月17日)

(審議事項)

- (1) 富山大学学生交流規則の一部改正について
- (2) 富山大学機器分析センター規則の制定について
- (3) 外国人教員の任期について

第1回留学生会館運営委員会(4月28日)

(議 題)

- (1) 平成10年4月留学生会館入居者の選考について
- (2) その他

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	10. 4. 13	近藤 俊彦		事務補佐員（附属図書館情報サービス課 情報サービス係）
	〃	高山 恭一		〃 （ 〃 ）
	〃	油井 晶代		〃 （ 〃 ）
	〃	熊谷さおり		〃 （ 〃 ）
	〃	島先 厚至		〃 （ 〃 ）
	〃	大橋 正浩		〃 （ 〃 ）
	〃	中根 一剛		〃 （ 〃 ）
	〃	加藤 奏		〃 （ 〃 ）
	10. 4. 17	渡邊 美香		教務補佐員（人文学部・理学部化学科）
	10. 5. 1	中井 精一		助教授 人文学部（言語文化学科 日本東洋言語文化）
昇 任	10. 5. 1	古田 高士	助 手 理 学 部（数学科数理解析）	助教授 理 学 部（数学科情報数理）
	〃	米山 嘉治	助 手 工 学 部（物質生命システム 工学科応用化学）	講 師 地域共同研究センター
退 職	10. 4. 12	高桑 幸子	教 諭 教育学部（附属養護学校）	平成10年4月11日限り任期満了退職
臨時的任用	10. 4. 13	高桑 幸子		教 諭 教育学部（附属養護学校） （～11. 2. 12）
育児休業	10. 4. 13	脊戸みちる	教 諭 教育学部（附属養護学校）	育児休業（～11. 2. 12）

学 内 諸 報

ロシア連邦モスクワ物理工科大学と大学間交流協定を締結

本学では、去る4月21日にロシア連邦モスクワ物理工科大学との間において大学間学術交流協定を締結しました。

今回の学術交流協定の締結は、大学間協定としては遼寧大学、マレーシア工科大学に次いで3大学目であり、時澤学長、宮下工学部長及び坂井工学部教授が同大学を

訪れ、時澤学長とクドゥリアフツェフ学長がそれぞれ協定書に調印し、取り交わしました。

モスクワ物理工科大学は、学生数約8,000人、教員数約1,200人の規模を要する物理系の国立大学として、ロシア国内においては筆頭のレベルにあり、これまでに3名の研究者がノーベル賞（物理学賞）を受賞されており、

このたびの学術交流協定の締結により、物理・化学・生物・数学・工学等の分野において教官・研究者の交流、共同研究及び研究集会の実施等を積極的に行うことにより、今後、一層充実した交流が実施されていくものと期待されます。



▲ 協定調印後握手を交わす時澤学長(左)とクドウリアフツェフ学長

○ 遼寧大学長（中国）が来学 ○

去る4月13日（月）中華人民共和国遼寧大学劉学長ほか3名が来学されました。

今回の訪問は、学術交流協定を締結している日本の大学を訪れ、さらなる学術交流活動の発展と相互理解のため来日し、本学を訪問されたものです。

本学では、1984年5月に学術交流協定（大学間）を締結しており、13日は学長を表敬訪問され、学長室で学長、学部長等が出席して懇談を行いました。

翌14日午前中は、遼寧省出身留学生（出席者8人）と人文学部上野、末岡両助教授が出席して懇談会が行われ、午後は富山県知事を表敬訪問の後、市内見学をして友好のうちに日程を終了しました。

代表団のメンバーは次のとおりです。

校長（学長）	劉 祁 濤(化 学 教授)
物理系(物理学部)主任	千 文 甲(理学博士 教授)
外事处处长	王 銘(歴史学 助教授)
科研处处长	陸 傑 榮(哲学博士 教授)



▲ 挨拶する劉学長（学長室）

ロモノソフ・モスクワ大学計算数学及び人工頭脳学部と学術交流協定を締結

工学部では、去る4月20日（月）にロシア連邦ロモノソフ・モスクワ大学計算数学及び人工頭脳学部と学部間学術交流協定を締結しました。

調印式は、宮下工学部長と坂井教授がロモノソフ・モスクワ大学を訪れ、宮下学部長とコストマロフ学部長が協定書に署名し、今後の交流の躍進を誓いました。

ロモノソフ・モスクワ大学は、学生数28,000人の国立の総合大学で、特に国際交流には積極的で、今回の協定締結にも大きな期待を寄せており、訪問団は盛大な歓迎を受けました。



▲ 協定締結後握手を交わす宮下工学部長（右）とコストマロフ学長

平成10年度 富山大学公開講座

平成10年度富山大学公開講座として次の13講座が実施されます。

	講 座 名	開 設 日 時	定員	受講料	申 込 期 間	対象者	実 施 場 所
教 養 講 座	幼児と環境 —保育の今とこれから—	5月20日～7月22日 水曜日 19時～20時30分 9回	30名	6,400円	5月8日～5月18日	市民一般	富山大学教育学部
	財政金融問題の読み方	6月4日～7月2日 木曜日 18時30分～20時30分 5回	30名	5,400円	5月18日～5月29日	市民一般	富山大学黒田講堂
	自然と生き物のしくみ	6月6日～7月25日 土曜日 14時～15時30分 8回	30名	6,400円	5月18日～5月27日	市民一般	富山大学人文・社会系 共通教育棟
	人と出会い	6月20日～7月18日 土曜日 13時～16時 5回	30名	6,400円	6月1日～6月12日	市民一般	富山大学黒田講堂
	生活デザインを見直そう	10月1日～10月9日 土曜日 18時30分～20時 7回	30名	5,400円	9月14日～9月25日	市民一般	富山大学黒田講堂
	パソコン教室(I) Windows入門	10月17日～11月14日 土曜日 9時～12時 5回	15名	6,400円	9月28日～10月12日	市民一般	富山大学生涯学習 教育研究センター
	小泉八雲と「ヘルン文庫」	10月22日～11月12日 木曜日 17時～19時 4回	20名	5,400円	10月5日～10月16日	市民一般	富山大学附属図書館
	女性学 男性学(Ⅲ)	11月14日～12月12日 土曜日 13時30分～16時30分 5回	50名	6,400円	10月26日～11月9日	市民一般	富山大学人文・社会系 共通教育棟
健 康 ・ ス ポ ー ツ 講 座	健康・スポーツ教室 「硬式テニス(初心者) コース」	7月27日～7月31日 土曜日 18時～21時 5回	20名	6,400円	7月6日～7月21日	市民一般	富山大学硬式テニス コート及び第1体育館
	健康・スポーツ教室 「ゴルフ(初級者)コース」	8月19日～8月27日 6時～8時(27日は13時～16時) 7回	20名	6,400円	7月27日～8月12日	市民一般	呉羽カントリー 練習場及びコース
	健康・スポーツ教室 「硬式テニス(初級者) コース」	12月18日～12月22日 土曜日 18時～21時 5回	20名	6,400円	11月24日～12月11日	市民一般	富山大学第1体育館
	「親子スキー教室」	1月23日～1月24日 2日間	20組	6,400円	12月1日～12月22日	市民一般 (親子)	牛岳スキー場
体 験 講 座	新しいもの創り —21世紀へのアプローチ—	7月30日 9時30分～16時 7月31日 10時～17時 2日間	40名	無 料	6月15日～6月26日	中 学 生	富山大学工学部

(注) 各講座は、県民カレッジと連携講座になっています。(ただし、「新しいもの創り」(体験講座)は除く)

問い合わせ先：富山大学生涯学習教育研究センター 〒930-8555 富山市五福3190番地

T E L (0764) 45-6956

海外渡航者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	理学部	助教授	大 澤 力	ベ ル ギ ー	不均一系立体区別酸化触媒の開発 に関する研究	10. 4 . 5) 11. 2 . 5

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	工学部	助教授	岡 田 裕 之	アメリカ合衆国	MRS1998年春季講演会及びシンポジウムに出席, 研究発表等	10. 4. 11) 10. 4. 18
	〃	助 手	中 茂 樹	アメリカ合衆国	MRS1998年春季講演会及びシンポジウムに出席, 研究発表等	10. 4. 11) 10. 4. 18
		学 長	時 澤 貢	ロ シ ア 連 邦	モスクワ物理工科大学との大学間交流協定の締結及び高等教育研究機関の現状調査	10. 4. 18) 10. 4. 26
	工学部	教 授	宮 下 尚	ロ シ ア 連 邦	モスクワ物理工科大学との大学間交流協定等の締結及び高等教育研究機関の現状調査	10. 4. 18) 10. 4. 26
	〃	教 授	坂 井 純 一	ロ シ ア 連 邦	モスクワ物理工科大学との大学間交流協定等の締結及び高等教育研究機関の現状調査	10. 4. 18) 10. 4. 26
	〃	教 授	熊 澤 英 博	大 韓 民 国	反応を伴う物質移動及び高分子組織中での拡散に関する共同研究の打合せ等	10. 4. 19) 10. 4. 25
海外研修	理学部	教 授	小 松 美英子	台 湾	「ヒトテの生殖と発生」に関する共同研究	10. 4. 7) 10. 4. 11
	人文学部	教 授	湯 川 純 幸	アメリカ合衆国	言語とジェンダーに関する研究打合せ及び第5回パークレイ女性と言語会議に出席	10. 4. 22) 10. 4. 29
	〃	助教授	上 野 隆 三	中 華 人 民 共 和 国	「第2回中日若手フォーラム21世紀の中国と日本」国際シンポジウムに出席等	10. 4. 24) 10. 5. 9
	理学部	助 手	辻 瑞 樹	イ ン ド ネ シ ア	ツムギアリの用いた生態的防除等に関する討議	10. 4. 25) 10. 5. 10

(外 国 人 来 訪 者)

氏 名 (国 籍)	本国における 所属機関・職名	来 学 目 的	本学受入れ先	期 間
ヨ ー ゼ フ エ ル ス タ ー (チェコ共和国)	南ボヘミア大学生物科学部 植 物 研 究 所 長	研究討議	理学部・教授 小 島 覺	10. 4. 16) 10. 4. 20

職 員 消 息

< 住所変更 >

部 局 名	官 職	氏 名
教 育 学 部	教 授 (家政教育)	松 川 三 郎
〃	教 諭 (附属養護学校)	長 濱 由 香
経 済 学 部	教 授 (理論経済学)	小 倉 利 丸
〃	助 教 授 (応用経済学)	中 村 和 之
理 学 部	教 授 (情報数理)	久 保 文 夫
〃	教 授 (反応物性化学)	金 坂 績
工 学 部	助 教 授 (応用化学)	蓮 覚 寺 聖 一
〃	文部事務官 (学務主任)	村 田 美 憲

< 新任者住所 >

部 局 名	官 職	氏 名
	事 務 局 長	水 上 修 一
庶 務 部	庶 務 部 長	秦 文 男
〃	文部事務官 (人事課専門職員)	作 井 功
〃	文部事務官 (企画室企画係長)	朝 野 真
経 理 部	主 計 課 長	神 野 政 幸
〃	文部事務官 (経理課管理係長)	大 場 和 夫
〃	文部事務官 (経理課情報処理係長)	牧 石 信 康
〃	文部事務官 (経理課用度主任)	田 村 修 一
施 設 課	文部事務官 (工営係)	釜 谷 充 哉

部 局 名	官 職	氏 名
学 生 部	学生部次長	嶽 釜 康 雄
〃	文部事務官 (厚生課専門職員)	御 福 隆
人文学部・理学部	文部事務官 (事務長補佐)	松 下 義 春
〃	文部事務官 (学務第二係長)	湯 浅 健 一
〃	文部事務官 (庶務係人事主任)	西 田 等
〃	事務補佐員 (化 学)	渡 邊 美 佳
人 文 学 部	助 教 授 (人間基礎論)	田 畑 真 美
〃	助 教 授 (国際文化論)	鈴 木 信 昭
〃	助 教 授 (文化環境論)	跡 上 史 郎
〃	助 教 授 (ヨーロッパ言語文化)	武 田 昭 文
〃	講 師 (国際文化論)	小 野 直 子
〃	講 師 (文化環境論)	内 山 純 蔵
〃	講 師 (日本東洋言語文化)	梁 有 紀
教 育 学 部	助 教 授 (家政教育)	磯 崎 尚 子
〃	文部事務官 (庶務係長)	門 前 剛 二
〃	文部事務官 (教務第二主任)	佐 藤 修
〃	教 諭 (附属小学校)	澤 柿 教 淳
〃	副 校 長 (附属中学校)	大 澤 保
〃	教 諭 (附属中学校)	有 島 洋 之
〃	教 諭 (附属養護学校)	秋 元 伸 吾
〃	教 諭 (附属養護学校)	保 里 良 隆

部 局 名	官 職	氏 名
教 育 学 部	副 園 長 (附属幼稚園)	常 川 允 子
〃	教 諭 (附属幼稚園)	河 崎 美 香
〃	文部事務官 (附属学校会計主任)	永 井 昭 光
経 済 学 部	助 教 授 (民 事 法)	片 岡 宏 一 郎
〃	講 師 (経 営 学)	内 田 康 郎
〃	助 手 (経 営 学)	馬 駿
理 学 部	助 教 授 (反応物性化学)	鈴 木 炎
〃	講 師 (環境化学計測)	張 勁
工 学 部	教 授 (電気システム工学)	升 方 勝 己
〃	助 教 授 (生 命 工 学)	安 川 洋 生
〃	講 師 (機械制御情報工学)	佐 竹 信 一
〃	助 手 (電子物性デバイス工学)	三 井 隆 志
〃	文 部 技 官 (電子物性デバイス工学)	森 雅 之
〃	文部事務官 (用度第二主任)	野 澤 和 子
〃	文部事務官 (庶 務 係)	山 本 徹
〃	文部事務官 (用 度 係)	川 成 淳 也
〃	事務補佐員 (庶 務 係)	東 海 香 織
〃	事務補佐員 (電気システム工学)	柳 井 瑠 美 子
〃	事務補佐員 (知能システム工学)	竹 島 結 実 枝
〃	事務補佐員 (設計生産工学)	川 崎 宏 子
附 属 図 書 館	情報サービス課長	田 中 成 直

部 局 名	官 職	氏 名
附 属 図 書 館	文部事務官 (参考調査係長)	脇 坂 勝 人
〃	文部事務官 (参考調査係)	高 尾 京 子
〃	事務補佐員 (情報サービス係)	安 部 公 子

主 要 行 事

本 部

- 4月2日 第1回自己点検評価委員会管理運営専門委員会
国立大学協会第7常置委員会(学士会館)
- 7日 第1回教養教育委員会実施専門委員会
- 8日 第1回教養教育委員会管理運営専門委員会
第1回国際交流委員会留学生部会
- 9日 第1回自己点検評価委員会教育活動専門委員会
- 10日 平成10年度入学式(富山市芸術文化ホール)
教養教育オリエンテーション, 学生部・保健
管理センターオリエンテーション
第2回自己点検評価委員会管理運営専門委員会
- 13日 遼寧大学学長来学
- 15日 日本育英会奨学生の出願説明会
教養教育推進特別委員会
- 21日 大学等就職問題連絡会議(県民会館)
ロシア連邦モスクワ物理工科大学と大学間学
術交流協定を締結(モスクワ物理工科大学)
- 22日 公務員採用試験に関する説明会
- 23日 体育施設運営協議会
体育施設委員会
- 23日~24日 大学評価セミナー(如水会館)
第84回東海・北陸地区会計系部課長会議(オー
クラクトシティホテル浜松)
- 24日 第1回教養教育委員会企画専門委員会
- 28日 第1回自己点検評価委員会研究活動等専門委
員会
第2回国際交流委員会留学生部会
- 30日 第3回自己点検評価委員会管理運営専門委員会

人 文 学 部

- 4月6日 「人文学部のしおり」編集委員会
- 7日 学部学生生活委員会
独立大学院研究科(博士課程)設置に関する
合同委員会
- 8日 学部就職指導委員会(持ち回り)
教授会
教授会(人事)
研究科委員会
- 10日 大学院新入生オリエンテーション
- 13日 学部新入生オリエンテーション
- 15日 学部将来計画委員会
学部入学者選抜方法検討委員会
- 20日 学部教育実習委員会
- 22日 独立大学院研究科(博士課程)設置に関する
カリキュラム部会
教授会
教授会(人事)
- 23日 「人文学部のしおり」編集委員会

教 育 学 部

- 4月6日 附属小学校第1学期始業式
- 7日 学部学生生活委員会
研究科委員会小委員会
学部改組ワーキンググループ会議
学部教務委員会
附属小学校入学式
附属養護学校第1学期始業式
- 8日 学部入学試験委員会
研究科委員会

- 8日 教授会
人事教授会
附属養護学校入学式
附属中学校及び附属幼稚園始業式
- 9日 附属中学校入学式
- 10日 教育学研究科新入生オリエンテーション
附属幼稚園入園式
- 13日 前学期授業開始
学部新入生オリエンテーション
- 15日 紀要編集委員会
学部改組に係る意見交換会
教育実習オリエンテーション(3, 4年次)
主免・副免オリエンテーション(2年次)
- 22日 教育実習検討委員会
研究科後発教科整備委員会
人事教授会
学部入学試験委員会
- 23日 学部カリキュラム委員会
- 27日 学部改組ワーキンググループ会議
学部教務委員会
- 28日 大学院連合教育学研究科(博士課程)設置構
想委員会(愛知教育大学)
- 30日 人事教授会

経 済 学 部

- 4月6日 コンピュータ管理運営委員会
- 7日 博士課程設置検討委員会
学部留学生委員会
学部教務委員会
学部入学方法検討委員会
- 8日 人事教授会
研究科委員会
教授会
- 13日 前学期授業開始
学部新入生オリエンテーション
- 15日 就職ガイダンス
学部図書委員会
- 21日 学部入学方法検討委員会
学部教務委員会
- 22日 広報委員会
人事教授会
教授会

理 学 部

- 4月3日 理工学研究科設置準備委員会理学部会
学部予算委員会
- 6日 学科長会議
理工学研究科博士前期課程理学部会
教授会
人事教授会
排水安全委員会
- 9日 実験廃液の取扱いに関する講習会
理工学研究科博士前期課程理学部会教務小検
討委員会
理学部案内編纂委員会
- 14日 学部学生生活委員会
- 15日 学部入試改善委員会
学部図書委員会
学部就職指導委員会
理工学研究科委員会(特別)
学部教育実習委員会
- 16日 ガラス工作室運営委員会
- 21日 学部教務委員会
- 22日 理工学研究科博士前期課程理学部会(臨時)
排水安全委員会
理学部案内編纂委員会
- 28日 学部入試改善委員会
- 30日 理工学研究科博士後期課程部会

工 学 部

- 4月7日 学部教務委員会
- 8日 教授会
専任教授会
理工学研究科博士前期課程工学部会
工学研究科博士後期課程委員会
学部運営委員会
- 10日 3年次編入学生オリエンテーション
- 13日 授業開始
新入生オリエンテーション
補修ガイダンス
- 15日 学部図書委員会
理工学研究科委員会(特別)
- 16日 電子広報委員会
- 20日 入学試験検討委員会
モスクワ大学との学部間学術交流協定調印

(モスクワ大学)

21日 学部教務委員会

22日 教授会

専任教授会

工学研究科委員会

理工学研究科博士前期課程工学部会

30日 理工学研究科博士後期課程部会

附属図書館

4月23日～24日

第49回北信越地区国立大学図書館協議会

(福井大学)

地域共同研究センター

4月17日 運営委員会(持ち回り)

保健管理センター

4月10日 エイズ講演会

13日 学生定期健康診断(新入生:教育学部, 経済学部)

15日 学生定期健康診断(新入生:人文学部・理学部, 工学部)

17日 学生定期健康診断(大学院生)

20日 学生定期健康診断(X線間接撮影)

21日 学生定期健康診断(X線間接撮影)

22日 学生定期健康診断(工学部)

23日 学生定期健康診断(大学院生)

24日 学生定期健康診断(X線間接撮影)

27日 学生定期健康診断(X線間接撮影)

28日 学生定期健康診断(X線間接撮影)

30日 学生定期健康診断(X線間接撮影)

平成10年度富山大学入学人数一覽



(学部)

学部	学科(課程)	入学者数
人文学部	人文学科	73(3)
	国際文化学科	54(1)
	言語文化学科	84(3)
	計	211(7)
教育学部	学校教育教員養成課程	152(1)
	総合教育課程	41
	計	193(1)
経済学部	昼間主	157
	コース	130(8)
	経営法学科	109(2)
	小計	396(10)
	夜間主	23
	コース	23
理学部	経済学科	25
	経営法学科	71
	小計	467(10)
	電子情報工学科	54
	物理学科	43
	化学科	38
工学部	生物学科	40
	地球科学科	40
	生物圏環境科学科	31
	計	246
	電気システム工学科	95(1)
	知能情報工学科	87(1)
工学部	機械知能システム工学科	100(2)
	物質生命システム工学科	156
	計	438(4)
	合計	1,555(22)

(学部第3年次編入学)

学部	学科等	入学者数
経済学部	経済学科	3
	昼間主	1
	コース	3
	小計	7
理学部	夜間主	2
	コース	3
	経営法学科	2
	小計	7
工学部	計	14
	数学科	1
	物理学科	3
	化学科	3
	生物学科	3
	地球科学科	5
工学部	生物圏環境科学科	1
	小計	16
	電子情報工学科	19
	機械システム工学科	11
	物質工学科	5(2)
	化学生物工学科	4
合計	39(2)	
合計	69(2)	

(大学院)

研究科(課程)	専攻	入学者数
人文科学研究科 (修士課程)	文化構造研究専攻	10(2)
	地域文化研究専攻	4(1)
	計	14(3)
教育学研究科 (修士課程)	学校教育専攻	8
	教科教育専攻	24(2)
	計	32(2)
経済学研究科 (修士課程)	地域・経済政策専攻	4(4)
	企業経営専攻	12(8)
	計	16(12)
理工学研究科 (博士前期課程)	数学専攻	7
	物理学専攻	7
	化学専攻	9
	生物学専攻	15(1)
	地球科学専攻	8(2)
	生物圏環境科学専攻	8
	電子情報工学専攻	51(5)
	機械システム工学専攻	38(3)
	物質工学専攻	27(1)
	化学生物工学専攻	18(1)
小計	188(13)	
理工学研究科 (博士後期課程)	システム科学専攻	6(2)
	物質科学専攻	5(2)
	エネルギー科学専攻	6(1)
	生命環境科学専攻	6(1)
小計	23(6)	
合計	211(19)	
合計	273(36)	

(注) 表中の()は、外国人留学生で内数。

○入学者総数 1,897人

編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話(24) 1755(代)